

ネットワークと組織連携

ネットワークと組織連携を考えるヒント

中核機関担当者：「地域連携ネットワークの図に基づいて、ネットワークを作りました」

お仕着せのネットワークはすぐには、機能しないかもしれませんが、

- それを回す力
- 同じ目標
- 共感や共通認識
- それぞれの担うべきことがお互いにわかっている
- 一緒に動いてみる、学んでみる、教えあう、教えてもらう 苦労しあう

などが、1つでもあれば、**つながっていく糸口**になります。

* わかってはいるができない、地域性等を検討しないことによって、形は作ったものの
→形骸化してしまう のは残念です。

連携のカタチ

【組織×組織】【組織×あらたな組織】

- 自組織にないものを持っている、それがないとわが組織は動けない
- 専門性(得意分野)がお互いに発揮できる⇒その内容の理解から
- 連携にうまみと魅力がある・・・可能性や将来性



- ① トップに協力と理解を求める
- ② 組織の意思決定の流れを理解しておく
- ③ 組織の中の「元気な人」を見つけて突破口にする

【庁内連携】

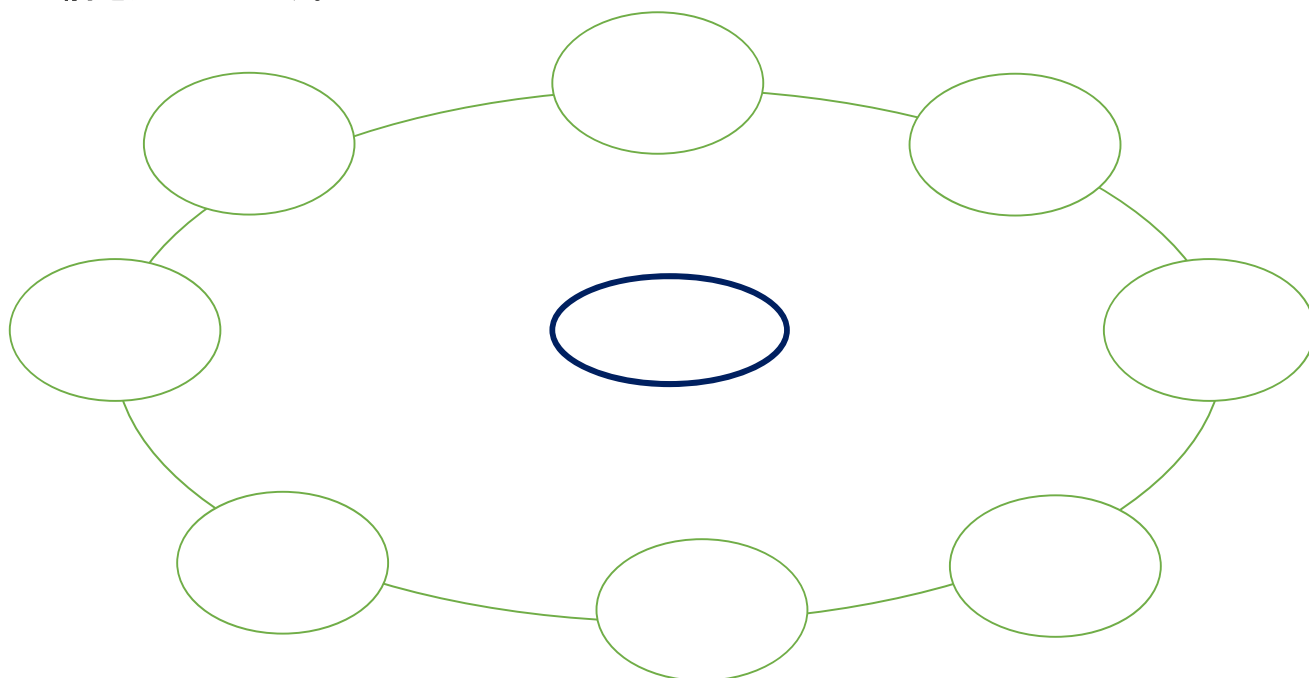
- 基本的には、【組織×組織】と同様だが、意外と隣の壁は厚い
- 人と人のつながりを多く持つ…共通のプロジェクト 協力が不可欠な改善策など
- 相手の不得意を知り、得意な人を紹介する…その際は、感謝と貢献できた喜びとが双方をつなぐ

3

ネットワークとは何か？【個人ワーク】

【自分が主語になるような支援体制を作る】

- 「我がこと」として考えてみましょう。ご自身が最期まで住み慣れた地域で生活するためのネットワークを構成する人、団体等を描いてください。まず真ん中の円に自分の名前を入れましょう。



4

ネットワークの構成と機能するためのポイント 【グループワーク】ブレイクアウト 30分

- ①グループで意見交換し、先ほど作成したご自身のソーシャルサポートネットワークに、さらに追加をした方がよいと思われる人や団体を書き入れてみましょう。

その時にご自身の「チーム」を意識し、チームを支援するネットワークを検討してみましょう。

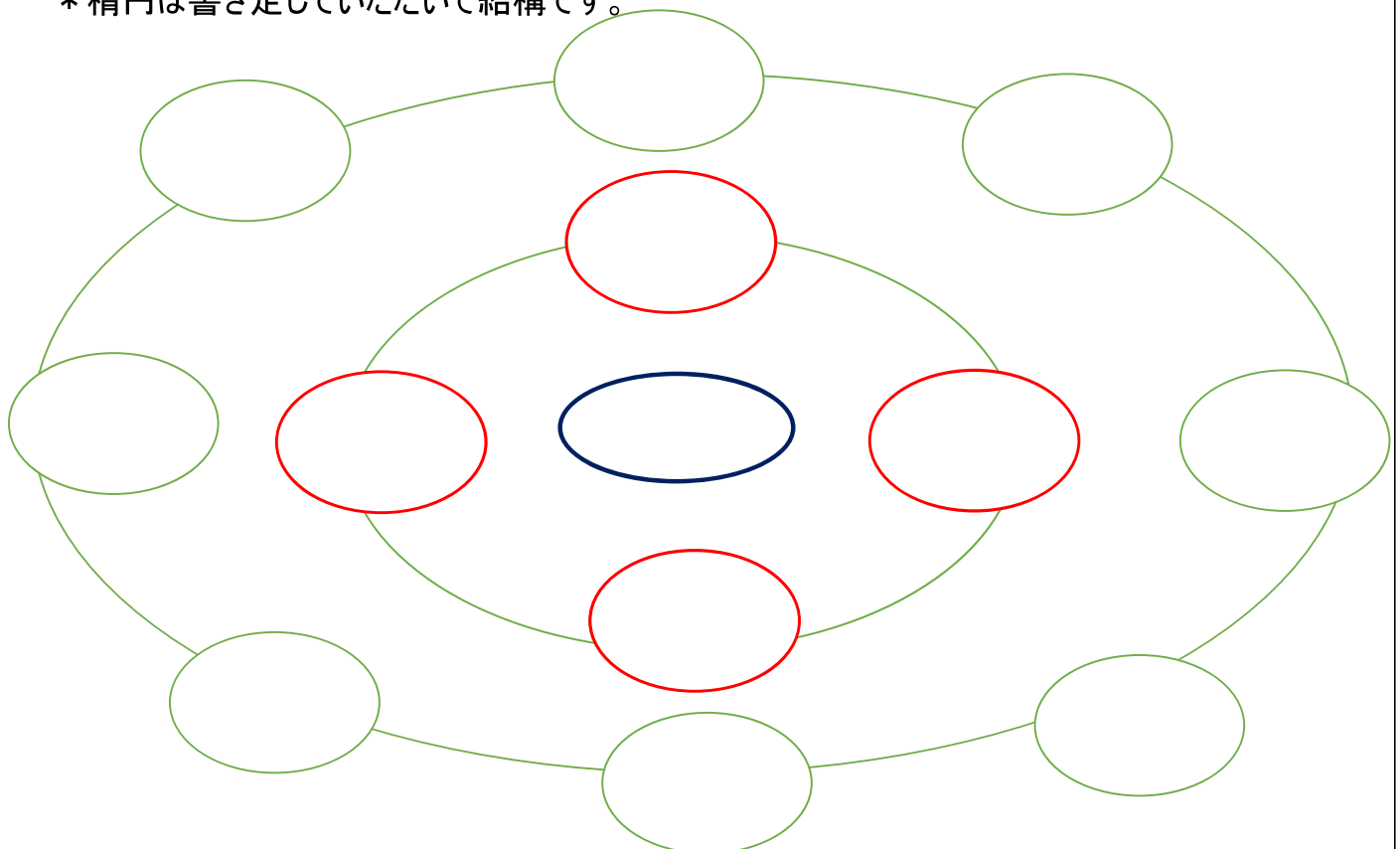
目標「住み慣れた地域で、最後まで生活できる」

- ②ネットワークがつながりあい、機能するためのポイントを考えてみましょう。

5

ネットワークの構成【Gワーク】

* 楕円は書き足していただいて結構です。



6

つながりあうために必要なポイント

ネットワーク(チーム・地域連携ネットワーク)は、作っただけでは機能しません。実際にネットワークが機能するための仕掛けは何でしょうか？考えてみましょう。

- 1.
- 2.
- 3.
- 4.
- 5.

7

連携するための目標の明確化とメソッド

「地域連携ネットワークを構築するためには、どうしたらいいですか」・・・

- ◆ どうしてそのネットワークが必要か？を共有する場を作る
- ◆ 実施主体(行政)と受託機関とが同じ方向を向き、分かち合えているか
- ◆ 多種多様な業種、専門機関の「得意と持ち味」が活かされているか
- ◆ それらをコーディネートする機関や存在がいるか



- ◆ それぞれの職責や役割を果たすことで連携力は強化する
- ◆ 地域の社会資源を洗い出しながら、地域で生活を継続するときに福祉だけでは解決できない案件があり、それを担う機関と積極的にかかわることから始める。

8